

【第 95 回対策本部会議】 8 月 16 日

健康福祉部長／本日の感染者は 114 人。昨日は 40 人だったので増加した感があるが、大雨の影響で検体検査が翌日に行われたため。平均して、約 80 人の感染者数だと考えている。

県内保健所管内ごとの新規感染者数の推移（人口 10 万人当たり 7 日間移動平均線）

唐津保健所管内は、急激に感染拡大していることがわかる。これは、福岡県の感染者数よりも多い。特に、旧唐津市の感染拡大が顕著。感染の内訳は、家族内感染、飲食店の利用客や従業員間での感染も見られる。昨日に続き、本日も市内の飲食店でクラスターが確認された。旧唐津市内での活発な行動を控え、1 人 1 人の感染予防対策の徹底をお願いする。

知事／大雨の災害対策やコロナの対応に当たる皆さん、本当にお疲れさまです。ダブルの危機に対し、佐賀県の底力を発揮するとき。県民の皆さんと共にこの難局を乗り切っていきたい。

向き合うべきは命。大雨災害で亡くなられた方はいない。これは、対策にあたる方々の努力の結集と住民の皆さんの避難が相まっての結果だと思う。現場の視察に行った。土砂災害は予測し難いので、早めの避難をお願いする。

外の様子を見に行き、災害に遭うこともあるので、県民のみなさんは、自制した行動をお願いする。

また、コロナの危機でもある。活発な行動を控えるよう改めてお願いする。今日は、114 人と過去最高の数字になった。昨日の大雨で本日に検査が集中した影響もあるが、平均すると 80 人という高い数字が続いているので、警戒してほしい。

病床使用率は、5 月 16 日の 51.8%を上回る 54.7%と過去最高となった。大雨で、病院とホテルの移送経路が途絶したり、回復した人が退院できなかったことが影響している。今後、大雨関連や唐津の感染増加などを分析し、18 日の本部会議で措置を打ち出したい。

措置のポイントは 2 点。1 点は、旧唐津市地域について。もう 1 点は、医療病床の切迫に伴う新たな医療確保対策。

本県では、「プロジェクト M」を機能させてきたが、医療関係の負荷が高まってきた。これまで自宅療養 0 人を続けているが、これについても検討する時期になってきた。新たな「プロジェクト M」として、非常事の戦略を再構築していきたい。ダブルの危機に対応し、県民の命に向き合っていきたい。

コロナ対応では、若者や中等症が多く、医療資源もひっ迫している。厳しい状況にある医療従事者の皆さん、さまざまな現場や市町のワクチン現場の皆さん、県職員、県民の皆さんに心から感謝を申し上げる。このような時こそ誹謗中傷をやめ、エールを送り合いたい。

ワクチン接種は、高齢者以外では 16%ほど。市町と協力し、この数字を早く上げていきたい。
現在、佐賀県はダブルの危機に直面している。佐賀らしいやり方で、チーム佐賀・オール佐賀
でこの難局を乗り越りたい。